

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社フレスコ・カンパニー)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用、教育、昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に取り組む						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメント防止規定を整備し、社内周知を行っている 相談窓口を設置し、早期対応可能な体制を構築している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			献立作成ソフトの活用や本部でのデータ一括管理により、現場の業務負担軽減と残業時間削減に取り組んでいる									8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	現在該当者はいないが、採用時には差別や人権侵害が発生しないよう体制整備していく				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			厨房内の安全衛生管理マニュアル(HACCPを取り入れた)を整備し、定期的な衛生講習会や現場での安全確認を実施している			3						8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			本部が現場とのコミュニケーションを重視し、定期的に従業員の意見を聞くことでメンタルヘルスの不調を未然に防ぐ体制を構築している			3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			多様な人材(特に女性や若手社員、高齢従業員)が活躍しており、出産・育児などのライフステージの変化後も安心して働けるよう、柔軟な働き方を整備している						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			栄養士・調理師等の業務に応じたOJTや給食業務に関する専門知識・衛生管理の研修を実施している				4	5.5				8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			パートタイム労働者を含め、雇用形態に関わらず業務内容に応じた適正な評価と待遇(同一労働同一賃金の原則)を行っている					5.5				8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			従業員の定期健康診断を年1回実施し、健康状態の把握と維持に努めている			3						8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物の分別・適正処理を徹底し、削減に取り組んでいる												11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			電気使用量等を把握し、省エネルギーに向けた管理を行っている								7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			不要な電力使用の削減など、温室効果ガス削減に取り組んでいる								7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		当社では有害化学物質を使用していない			3.9			6.3						11.6	12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			事業活動において環境負担を低減する取組みを行っている						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			リデュース、リユース、リサイクルを意識し、資源の有効活用に取り組んでいる												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)															12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)															12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			就業規則等において、取引先等に対する汚職、贈収賄などの不正行為を廃止、従業員へ周知している																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			下請法などの関係法令を遵守し、食材の仕入れ先や取引先に対して公正かつ透明性の高い取引を行っている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			献立作成ソフトなどITツールや他社の著作物、商標等の知的財産権を侵害しないよう社内ルールの周知を図っている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			高齢者施設などの利用者及び従業員の個人情報の取り扱いに関するルールを定め、厳重に管理している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	現時点では「パートナーシップ構築宣言」の公表には至っていないが、取引先や地域事業者との信頼関係を重視し、公正な取引と相互成長に取り組んでいる。今後は制度内容を踏まえ、宣言の実施を前向きに検討する			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 〔【非該当】を選択した場合こちらには理由記載〕	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			提供する給食の安全性を確保するため、HACCPの考えを取り入れた衛生管理とアレルギー対応マニュアルを徹底している			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			地域の嗜好や特性に合わせた献立立案を行い、委託元施設との定期的な意見交換を通じて給食の品質向上に努めている									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地場産食材を積極的に活用(地産地消)することで、輸送に伴う環境負荷の低減に貢献している						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			腸内環境改善や予防医学の観点を取り入れたメニュー提案・提供により、高齢者の健康寿命延伸という社会課題の解決に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			地元の農家さんから食材を調達するなど、自社の事業活動が地域経済に与える影響を考慮した運営を行っている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「千曲市ワーケーションウェルカムデイズ」での青空レストラン出張シェフなど、地域のイベントや活動に積極的に協力・参画している				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ (任意)			地場のフルーツや特産品（フローズンヨーグルトやご当地スパイス等）とコラボした商品開発を通じて、地域資源の積極的な利用と魅力発信を行っている								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			経営理念を社内共有し、定期的なミーティングで浸透を図っている									8	9							17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			食品衛生関連法規や労働基準法などの遵守を経営の基本とし、管理本部主導のもと社内への浸透を図っている																	16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			管理本部を設置し、各事業所の衛生管理、労務管理、SDGs推進などの社会的責任に対応する体制を整備している																	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			給食委託元の施設担当者や利用者、取引業者と定期的に意見交換を行い、要望や影響を事業運営に反映させている																	16 17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)																				16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																				16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)												9		11		13 13.1				16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境負担低減への多角的なアプローチ		食品ロス削減や廃棄物分別の徹底、省エネ機器の使用に加え、地元食材の活用による輸送負担軽減、梱包資材の削減を推進。また次亜塩素酸水や電解水など環境負担の少ない衛生管理商品販売、普及を通じ社会善他の環境負担軽減に寄与している						6	7					12	13		15		
「食」と「衛生」を通じた安心な社会づくり		高齢者福祉施設への安全な給食提供、次亜塩素酸水・電解水による高度な衛生管理、地元農産物の積極的活用を实践。地域イベントへの参加や女性が活躍し従業員が安心して働ける職場環境づくりを通じて、健康で持続可能な地域社会を支援している			3	4				8			11						
地域資源を活かした持続可能な経済活動		給食事業からフローズンヨーグルトの製造販売、EC販売、百貨店への展開まで多角的な事業運営を実施。地域企業との連携や衛生関連商品の提供を通じ、地域経済の活性化と安定した雇用の確保、持続可能な経営基盤の構築に取り組んでいる								8	9			12					17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定